令和6年度 愛媛大学地域創生イノベーター育成プログラム(南予)

選択科目(ステージⅡ) ※地域創生イノベーター育成プログラム(東予) 開講科目を選択してオンライン受講 など

ステージ	年	月	B	曜日	時限	科目名	講義題目	担当		受講方法
Ⅱ 問題解決の方法を学ぶ	令和6年	9	21	_	3	- SDGsの推進に向けて	SDGsの概要と意義	愛媛大学 SDGs推進室 副室 長	小林 修	同期型(オンライン受講)
				土	4		HOTEL WHYから学ぶサスティナブ ルな社会	㈱BIG EYE COMPANY 代表取締役	田中 達也	
		9	28	±	1	変動する社会 -DX・カーボンニュートラル・ レジリエンス-	新しい働き方の創造と未来社会	総務省 地域情報化アドバイ ザー / 地域力創造アドバイ ザー	加藤 遼	
					2		地域と連携した「防災」と「まちづく り」 の担い手育成	愛媛大学 防災情報研究セン ター長	NETRA Prakash Bhandary	
					3		持続可能な地域経済社会(RX)の 実現に向けて	四国経済産業局 地域経済 部長	熊野 哲也	
					4		Town&Gownの推進と未来社会の 構築	広島大学 理事 (Town&Gown Office 室長)	金子 慎治	
			5	±	2	・ 科学技術における インクルージョン	多様な知識が共創する「地域レジリ エンス学環」入学のすすめ	愛媛大学 地域レジリエンス学環 副学環長	森脇 亮	
					3		イノベーションマッチングと人材創出	島根大学地域未来協創本部 産学連携部門 准教授	服部 大輔	
					4		愛媛大学における産学民官連携の 動向とプロジェクトマネジメント	愛媛大学 産学連携推進セン ター リサーチファンド獲得支援 部門長	入野 和朗	
			12	±	1	海事・ グリーンイノベーション を巡る動向	新たな海洋・海事の国際的拠点創出 に向けて	(公財)笹川平和財団 海洋政 策研究所 主任研究員	小森 雄太	
					2		JAXAが進めるカーボンニュートラル 技術開発	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 准教授	曽根 理嗣	
					3		海洋科学掘削で探る地球の深部	海洋研究開発機構(JAMSTEC) 主任研究員	阿部 なつ江	
		10			4		瀬戸内海を活用したクルーズ展開	瀬戸内海汽船㈱ 代表取締役社長	仁田 一郎	
			26	±	1		地域循環共生圏の構築及び脱炭素 先行地域の選定動向	中国四国地方環境事務所 四国事務所 地域脱炭素創 生室 企画官	伊藤 悟志	
					2		海事業界を取り巻く環境と海事行政 の取り組み	四国運輸局長	河野 順	
					3		カーボンニュートラルに向けたエネ ルギー科学技術	九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 副所長	松本 広重	
					4		地域洋上風力発電の展望	秋田洋上風力発電㈱ 総務人事部長	牛丸 広大	
			2	±	1	地域資源活用の ダイナミクス	神山まるごと高専の開校	学校法人神山学園 理事 (NPO法人グリーンバレー理 事)	大南 信也	
					2		地域連携におけるアートマネジメント の活用	鳥取大学 地域価値創造研究機構 地域創生教育推進 室長	石田 陽介	
					3		食を中心とした持続可能なまちづくりの推進	NPO法人きずな 理事 (受講者還流枠)	山内 章正	
					4		UIJターン人材の積極的な活用とコワーキングスペース	(一財)えひめ暮らしネット ワーク 代表理事	板垣 義男	
					1	・ 地域創生に向けた 研究シーズ	愛媛県の紙産業の課題と紙産業イノ ベーションセンターの取組	愛媛大学 紙産業イノベー ションセンター長	内村 浩美	
		11			2		愛媛県の養殖業の課題と南予水産 研究センターの取組	愛媛大学 南予水産研究センター 副センター長	後藤 理恵	
			16	土	3		文化資源マネジメントと観光まちづくり		井口 梓	
					4		地域包括ケアの推進	愛媛大学 地域協働センター 中予 副センター長	藤村 一美	
			30	±	1		全体最適を目指したスマートなまち づくり	広島大学 先進理工系科学研究 科 教授	田中 貴宏	
					2		デジタル技術を活用したスマート農業	広島大学 大学院統合生命科学 研究科 教授	三本木 至宏	
					3		美味しさを科学する	広島大学 大学院人間社会科学研究 科 准教授	冨永 美穂子	
					4		実践的な時間健康科学を地域社会に生かす	広島大学 大学院医系科学研究 科 准教授	田原 優	
			1	<u>I</u>	<u>I</u>	自らの関心に応じ	「たシンポジウム、スキルアップ講座、ī		<u>-3)</u>	・同対期面型
					見目	09:00~10:30				

 1限目
 09:00~10:30

 2限目
 10:50~12:20

 3限目
 13:30~15:00

 4限目
 15:20~16:50